

様式2

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2025年 6月 13日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒063-8510 札幌市西区西町北18丁目1番1号
氏名	マルハニチロ畜産株式会社
(代表者名)	代表取締役社長 石黒 裕之

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項の規定により、環境保全行動
第23条第3項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報告期間		2024年4月1日～2025年3月31日			
事業の規模	従業員数	402	人	原油換算した 燃料・熱・電気の合計量	3017.3 kJ
	使用床面積	16866	m ²		
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	8 台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂ 6250 t-CO ₂	メタン t-CO ₂	N ₂ O t-CO ₂	HFC t-CO ₂
		非エネルギー起源CO ₂	PFC t-CO ₂	SF ₆ t-CO ₂	NF ₃ t-CO ₂
報告書の担当部署		担当部署名			
		担当者氏名			
		電話/FAX			
		電子メールアドレス			
計画書提出根拠		条例第13条(環境保全行動計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項	
		条例第23条(自動車使用管理計画)		<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項	
計画期間		2023年4月1日～2026年3月31日			
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり			
備考					

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができます。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2023年 4月 1日～ 2026年 3月 31日

【報告期間】

2024年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2023年度結果			2024年度結果			2025年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
二酸化炭素排出量の削減	6,540	3	6,900	▲ 6	×	6,230	5	○			
	t-CO2	%	t-CO2	%		t-CO2	%				
資源の有効利用	1,019,500	3	1,005,500	1	△	961,500	6	○			
	枚	%	枚	%		枚	%				
廃棄物の排出抑制	1,261.77	3	1,345.87	▲ 7	×	1,166.61	8	○			
	t	%	t	%		t	%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
二酸化炭素排出量の削減	○	生産設備の増強、空調設備の更新(省エネ型)、冷却設備の更新(自然冷媒)、及び生産量減少によりエネルギーの使用量が減少。
資源の有効利用	○	電子化による使用量の減少。
廃棄物の排出抑制	○	工場改善活動により廃棄物削減。